

平成24年度（平成23年度事業）
教育委員会に関する事務の
点検・評価報告書

平成24年9月

周防大島町教育委員会

目 次

◆	はじめに	1
◆	学校教育	2
	1 確かな学力の育成	3
	2 豊かな心の育成	5
	3 健康体力の向上	6
	4 特色ある学校づくり	6
	5 信頼される学校づくり	7
	6 教職員の資質の向上	7
◆	社会教育	9
	1 多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進	10
	2 地域教育力活性化の推進	15
	3 人権教育の推進	17
	4 スポーツの振興	20
◆	学校環境の整備	24
	1 学校施設の整備	25

【はじめに】

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、効果的な教育行政を推進し、住民への説明責任を果たすことが求められており、その結果に関する報告書を作成し、地方教育行政の組織および運営に関する法律第27条の規定により、議会に提出するとともに、公表することとなっております。

そこで、今年度の報告書を公表します。

2 点検・評価の対象・期間

点検評価の対象は、平成23年度の周防大島町の基本方針（学校教育・社会教育）に基づく施策と学校環境整備の主な事業を対象としました。

点検評価の対象期間は、平成23年4月から平成24年3月までの事業です。

3 点検・評価の方法

点検・評価対象とした重点施策は昨年と同様としており、次のとおり4段階の総合評価（自己評価）を設定しました。

- ① 計画どおり
- ② 概ね計画どおり
- ③ 具体的改善策が必要
- ④ 全般にわたり要検討

4 まとめ

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価については、例年どおりとしております。

評価の手法等について今後更に効果的な教育行政を推進し、町民への教育行政評価の客観性・透明性を図り、的確な評価に向け取り組みを改善してまいります。

学 校 教 育

【学校教育課】 ふるさとの心をつなぐ教育と文化の島づくり・人づくり

学校教育は、知・徳・体の調和のとれた人格の完成をめざし、平和で民主的な国家及び社会の形成者の育成を目的とする。この目的を達成するには、基礎的・基本的な学習内容の着実な定着と、学ぶ意欲や向上心等を高めるとともに、感謝の心や思いやり、困難にくじけないたくましい心身の育成を図ることが重要である。

また、教職員の教職への誇りと優れた指導力、学校への保護者や地域の信頼を土台としながら、学校内外の教育資源を取り込んだ学校経営を進めることや、児童生徒が充実感と安定感を持ち、保護者は通わせてよかったと感じ、教職員が勤めてよかったと感じる学校生活を学校評価等を活用しながら作り上げていくことが求められる。

そこで、本町の「教育振興基本計画」にのっとり、長期的視点も加味しながら各校の教育の充実を図るとともに、児童・生徒の夢を育てる教育を進めることで、本町教育の基本目標「ふるさとの心をつなぐ教育と文化の島づくり・人づくり」の具現化を図ってきた。

1 確かな学力の育成

- 学習内容を確実に定着させ、到達度評価による学力の検証
- 自ら考え、伝え合い高め合う力の育成と基礎学力の充実を図る、拡大集合学習の実施
- 既存の情報機器を有効利用した授業実践
- 家庭学習充実への支援
- 「朝読書」や読み聞かせ等の読書活動、地域の図書館の活用等の推進

◆到達度評価による学力の検証

【総合評価】
概ね計画どおり

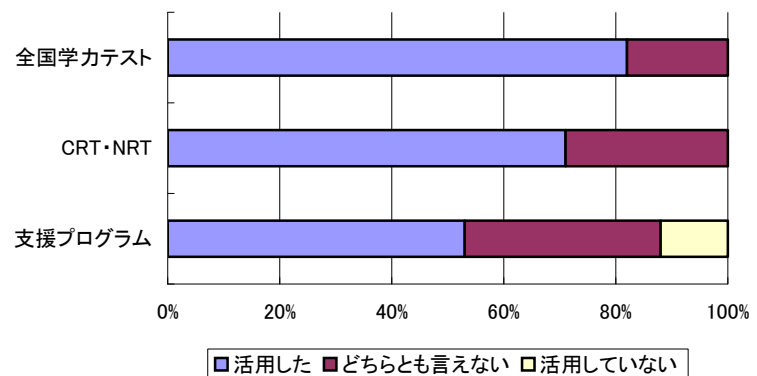
【成果】

- ・各校において指導と評価の一体化を図りながら、学習指導を進めている。また、「やまぐち学習支援プログラム」やCRT（標準学力検査）NRT（集団基準準拠学力検査）等の結果を各校の学力向上プランの見直しに生かすことができた。

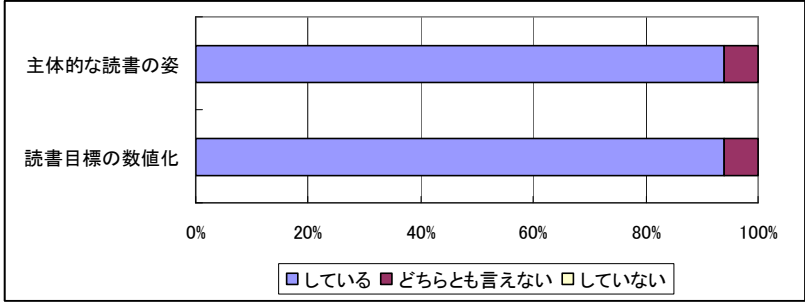
【課題】

- ・小学校においては、学級規模が小さいために、個人の課題か集団としての課題か判断しにくいところがある。拡大集合学習等の充実により、より大きな集団の中で学習法・指導法の改善について工夫できるようにしたい。

《各種評価問題の学力向上プラン見直しへの活用》



<p>◆自ら考え、伝え合い高め合う力の育成と基礎学力の充実を図る拡大集合学習の実施</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の小規模校を3ブロックに（大島、橘、東和）に分け、各ブロック内の小学校5・6年生を1校に集めて、国語や算数などの教科を中心に延べ10日間の拡大集合学習を実施した。 <p>拡大集合学習（KS学習）では、小集団学習の視点からの教育活動の工夫や、個別化の視点からの教育活動の工夫などを行った。教職員からは、小集団の中で児童が意見交換する場を設定し学習の深化・拡充を図ることができたこと。複数の教員による個別学習により基礎基本の定着が図れたことなどの成果があがった。</p> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模が異なる学校が集まって教育活動を展開することになるため、事前事後までかなりの準備が必要となる。教員の意欲的な取組を期待する上でも、拡大集合学習のねらいを明確に理解することが求められる。実施時期、実施期間、内容等、実践を通じた見直しのための検証が必要である。 								
<p>◆家庭学習の支援</p> <p>【総合評価】 具体的な改善策が必要</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」の作成が ほぼ全ての学校で作成できた。その中で、はっきりと発達段階に応じた目標を示すこと（〇年生〇分）により児童生徒の家庭学習の習慣化が徐々に図られてきた。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習慣の定着については、継続的な指導が必要である。 ・学校と保護者との連携により、よりよい学習習慣の定着を図ることが必要である。 <p>《家庭学習の習慣化に係る意識》</p> <table border="1"> <caption>家庭学習の習慣化に係る意識</caption> <thead> <tr> <th>意識</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身についている</td> <td>約55%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>約35%</td> </tr> <tr> <td>身についていない</td> <td>約10%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■身についている ■どちらとも言えない □身についていない</p>	意識	割合	身についている	約55%	どちらとも言えない	約35%	身についていない	約10%
意識	割合								
身についている	約55%								
どちらとも言えない	約35%								
身についていない	約10%								

<p>◆読書活動の推進</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において朝の始業前の時間や給食配膳の時間を活用して、全校で読書活動を行っている。また、ほぼ全ての小学校で、外部指導者により、月に1回程度、読み聞かせや読書フェスタを実施し関心を高めている。 ・各学校においては、児童・生徒一人ひとりの数値目標を設定するなど、個人や集団で意識的に取り組んでいる。 											
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での読書の取組が家庭での読書活動に結びつきにくいいため、二極化の傾向がある。社会教育課を含めた読書活動の推進が今後の課題である。  <table border="1"> <caption>読書活動の現状</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>している</th> <th>どちらとも言えない</th> <th>していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主体的な読書の姿</td> <td>90%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>読書目標の数値化</td> <td>90%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	している	どちらとも言えない	していない	主体的な読書の姿	90%	10%	0%	読書目標の数値化	90%	10%
項目	している	どちらとも言えない	していない									
主体的な読書の姿	90%	10%	0%									
読書目標の数値化	90%	10%	0%									

2 豊かな心の育成

- 自然や地域の条件を生かした豊かな体験活動の実施
- 心に寄り添う相談活動や積極的生徒指導の推進
- 望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の実施
- 自他の生き方を励まし合う心と人権尊重の精神の育成
- 児童・生徒の内面に根ざす道徳性の育成

<p>◆自然や地域の条件を生かした豊かな体験活動の実施</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科や社会科、総合的な学習の時間などにおいて、学校周辺の自然環境や社会環境を活用した学習活動が、全ての小・中学校において計画的に実施されている。 ・地域の方々とのネットワークが拡張され、地域の人材を活用した工夫された取組が増えている。
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然や地域との関わりをすすめる人材の情報を中学校区ごとに共有し、地域の小中学校が一層豊かな体験活動に取り組んでいけるとよい。

<p>◆相談活動や積極的生徒指導の実施</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談は、学期に1回程度、全ての小・中学校において計画的に実施された。通常は学級担任が行っているが、必要に応じて、学校に配置されているスクール・カウンセラーが対応するなど、質の高いシステムが確立されている。 また、スクール・ソーシャル・ワーカーの積極的な活用により難しい生徒指導上の問題については、早期に専門的な機関とも連携することができた。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談という手法では、児童生徒の発達段階によって、状況を正確に捉えることが難しい場合がある。したがって、教員は、常日頃から児童生徒の変化を見逃さないよう留意しておく必要がある。
---	---

3 健康体力の向上

- 個別の課題に対応した健康教育の推進
- 個に応じた体位・体力の向上と健康の増進
- 食育への取組と「自分の命は自分で守る」精神の涵養

<p>◆健康教育の推進</p> <p>【総合評価】 具体的な改善策が必要</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康面に関する情報をまとめた「周防大島町児童生徒の体位・体力誌」を作成し、町全体の傾向を共有し、具体的な取組につなげている。 ・全小中学校で「体力向上プラン」を作成し、授業改善や1校1取組（重点的取組）をすすめ、一輪車、縄跳び等、持久力調整力を高めることができた。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の工夫した取組により柔軟性などで改善傾向が見られるものもあるが、投力など体力の改善につながっていないものもある。
--	--

4 特色ある学校づくり

- 地域の人材（宮本常一の業績等）を生かした教育活動の工夫
- 小規模校の特徴を生かした指導方法の研究・実践
- 中高一貫教育、小中連携教育、小小連携教育の推進

<p>◆宮本常一の業績や研究手法を取り入れた学習活動の改善</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育カステップアップセミナーとして、教員を対象に講座を開設した。講師として高木学芸員を招へいし、宮本常一の業績や研究手法を生かした授業づくりについて学んだ。 ・「宮本常一の写真を調べるコンクール」を開催し、小・中学校から多数の応募があった。調べたきっかけやまとめの考察などの内容が深まってきている。
---	---

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校によって、取組に温度差がある。さらに多くの教員が積極的に取り組めるよう、セミナー等のあり方、出前研修等工夫していく必要がある。
--	--

5 信頼される学校づくり

- 情報の公開や共有化による家庭・学校・地域の信頼関係の醸成
- 子どもを核とした、家庭や地域、保育園など関係機関との連携

<p>◆連携教育の推進</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡大集合学習の実施に伴って、小学校間の協調体制はかなりできあがっている。中学校の教員の中にも、小学校の学習の様子を積極的に参観しようとする動きが見られるようになってきた。 中高連携において、高等学校教員と中学校教員が互いに学校を訪問し、交流授業を実践することで授業改善を図り、学力向上への取組がなされている。 												
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校から見た気づきなど、校区内で問題点を共有し、小中を見通した指導ができるようになれば、指導の効果も期待できると思われる。 中高連携の取組によって得られた授業改善のノウハウが、その教科内だけにとどまり、せっかくの取組が他へ広がりにくい。 												
	<table border="1"> <caption>進捗状況の棒グラフ</caption> <thead> <tr> <th>取組</th> <th>できた (%)</th> <th>どちらとも言えない (%)</th> <th>できていない (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9か年を見通した指導</td> <td>65</td> <td>35</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小・中連携の場の設定</td> <td>85</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	取組	できた (%)	どちらとも言えない (%)	できていない (%)	9か年を見通した指導	65	35	0	小・中連携の場の設定	85	15	0
取組	できた (%)	どちらとも言えない (%)	できていない (%)										
9か年を見通した指導	65	35	0										
小・中連携の場の設定	85	15	0										

6 教職員の資質の向上

- 使命感や倫理観、人権意識の高揚をめざした研修の深化
- 改訂学習指導要領の理解と実践的な指導力の向上
- 教職員の意識改革と協働実践力の向上
- 「教育カステップアップセミナー」実施による教職員の資質向上

<p>◆資質向上研修の充実</p> <p>【総合評価】 具体的な改善策が必要</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綱紀保持や服務規律の確保に向けての研修に重きを置いてきた。事案の発生を受け、教職員の意識も高まり充実した研修がなされてきた。 ・柳井地域合同の研修会を積極的に開催した。また、指導主事の広域での関わりも行いながら、学校・教職員のニーズに応じた校内研修等の支援を行った。
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分掌主任として企画・運営する能力や、教師としての専門性を積極的に高めようとする意識なども、大切な資質として育てていく必要がある。 ・「教育カステップアップセミナー」の内容を、必要性の高い項目にしぼる等、内容の精選を図り、実効性の高いものとする工夫が必要である。

社 会 教 育

【社会教育課】 ふるさとの心をつなぐ教育と文化の島づくり・人づくり

国際化、情報化や科学技術の進展に伴う価値観の多様化、さらに環境問題の深刻化、少子高齢化等の社会状況の波は本町にも押し寄せている。また、近年は、町民個々の教育ニーズも多岐にわたり、本町が長年培ってきた「家族ぐるみ・地域ぐるみの共同体に支えられた教育基盤」も変容しつつある。

そこで、本町では、人権尊重の精神を学習推進の基盤として、新たな時代に対応できる人材育成と、高齢化社会における健康と生きがいづくりに向けて、「だれでも、いつでも、どこでも」学び、ふれあい、楽しむことができる生涯学習と生涯スポーツへの支援を図り、町民と共に生きがいのある家庭教育、社会教育の推進を図った。

さらに、私たちの心の豊かさの源であり、郷土の誇りである文化遺産の継承と個性豊かな地域文化の創造に努め、本町教育の基本目標である「ふるさとの心をつなぐ教育と文化の島づくり・人づくり」をめざし、次のような努力点をあげ、具現化を図った。

1. 多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進

- 多様な学習ニーズにあった学習機会の提供・学習内容の充実
- 社会教育施設の活用及び生涯学習情報の提供
- 郷土の歴史・芸能・文化の保存・継承と文化活動の推進
- 図書館の利用体制の整備と読書活動の奨励

◆公民館における学習講座の開催 【総合評価】 概ね計画どおり	【成果】																																						
	・公民館主催により、7学級を実施した。橘地区は、シニアクラブ連合会主催で、ことぶき大学という高齢者講座が開かれている。																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>開催施設</th> <th>対 象</th> <th>受講者数</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">高齢者学級</td> <td>大島公民館</td> <td>高齢者</td> <td>100名</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>久賀公民館</td> <td></td> <td>29名</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>東和総合センター</td> <td></td> <td>146名</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>女性学級</td> <td>橘公民館</td> <td>女性</td> <td>28名</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>乳幼児学級</td> <td>久賀公民館</td> <td>乳幼児を持つ親</td> <td>25名</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>IT講習(エクセル)</td> <td>大島公民館</td> <td>成人</td> <td>9名</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>IT講習(ワード)</td> <td>大島公民館</td> <td>成人</td> <td>9名</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	開催施設	対 象	受講者数	開催回数	高齢者学級	大島公民館	高齢者	100名	7回	久賀公民館		29名	9回	東和総合センター		146名	8回	女性学級	橘公民館	女性	28名	8回	乳幼児学級	久賀公民館	乳幼児を持つ親	25名	8回	IT講習(エクセル)	大島公民館	成人	9名	6回	IT講習(ワード)	大島公民館	成人	9名	6回
区 分	開催施設	対 象	受講者数	開催回数																																			
高齢者学級	大島公民館	高齢者	100名	7回																																			
	久賀公民館		29名	9回																																			
	東和総合センター		146名	8回																																			
女性学級	橘公民館	女性	28名	8回																																			
乳幼児学級	久賀公民館	乳幼児を持つ親	25名	8回																																			
IT講習(エクセル)	大島公民館	成人	9名	6回																																			
IT講習(ワード)	大島公民館	成人	9名	6回																																			
	<p>【課題】</p> <p>・高齢者学級 合併前から各地区で定着した学級となっており、数年にわたり受講している高齢者も多い。高齢化の進展した本町にとって、高齢者の学習機会の提供は重要課題であり、今後も学習ニーズのよりの確な把握とともに、タイムリーなテーマも取り上げ魅力ある学習内容とすることが必要である。また、各地区学級との連携を図り、受講者が柔軟に各地区の学級を受講できる仕組みを作ることが必要である。</p>																																						

	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児学級 本町出生数の減少が続き受講対象者が減少しているが、少子化、核家族化の進展とともに、家庭教育を支援していく上で重要な学級である。子育てに関する情報提供の場、悩みごとを解消する場、そして、子育てを共有する者同士の交流の場となるよう、関係機関と連携を図り、発展させていくことが必要である。 ・女性学級 現在橘地区の1か所で開催しているが、他の3地区においても女性を対象とした学習機会の提供の検討が必要である。 ・成人を対象とした講座 大島商船高専の協力によりIT講習を開催した。地域の教育資源を活かすとともに、ネットワーク社会での生活に必要な学習であり、内容や募集方法を工夫し、受講者を確保していくことが必要である。また、成人を対象とした新たな学習機会の提供の検討が必要である。 															
<p>◆町民の自主的活動の支援</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味・教養を高めたり健康づくり等の学習をする133の自主学习グループが、公民館等を利用し活動した。これらグループの活動に対し、活動状況を取りまとめた紹介チラシを作成し、全戸配布により活動の紹介と参加募集を支援した。また、公民館等の使用料(冷暖房費を除く)を免除して、運営を支援した。 <p>-----</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習方法や内容に対する相談体制の整備、適切な学習情報の提供、学習成果を生かせる場の提供、そして、グループ相互の交流の場を提供し、自ら学ぼうとする意欲をより一層盛り上げていく必要がある。 															
<p>◆学習情報の発信</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催の生涯学習講座は、年度初めの講座内容を紹介したチラシの全戸配布をはじめ、町広報、ホームページへ掲載し募集した。 <p>-----</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関する情報提供誌の発行等の方法を検討し、生涯学習の普及・啓発をしていく必要がある。 															
<p>◆学習成果の発表機会の提供</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習成果の発表・紹介と交流を図る大会を開催し、学習者の学習意欲を高めるとともに、町内の学習機運を高めた。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事業名</th> <th style="text-align: center;">会場</th> <th style="text-align: center;">開催月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化芸能の集い (歌と踊りの夕べ)</td> <td>大島文化センター</td> <td>7/2</td> </tr> <tr> <td>文化芸能の集い (うずしおフェスタ)</td> <td>大島文化センター</td> <td>10/15,23</td> </tr> <tr> <td>文化作品展示会</td> <td>久賀総合センター</td> <td>10/28～11/25</td> </tr> <tr> <td>ふるさと文化祭</td> <td>大島商船高等専門学校</td> <td>11/3</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	会場	開催月日	文化芸能の集い (歌と踊りの夕べ)	大島文化センター	7/2	文化芸能の集い (うずしおフェスタ)	大島文化センター	10/15,23	文化作品展示会	久賀総合センター	10/28～11/25	ふるさと文化祭	大島商船高等専門学校	11/3
事業名	会場	開催月日														
文化芸能の集い (歌と踊りの夕べ)	大島文化センター	7/2														
文化芸能の集い (うずしおフェスタ)	大島文化センター	10/15,23														
文化作品展示会	久賀総合センター	10/28～11/25														
ふるさと文化祭	大島商船高等専門学校	11/3														

	第 23 回橘生涯学習発表大会 (第 54 回文化芸能の部)	橘総合センター	11/3
	第 23 回橘生涯学習発表大会 (第 54 回作品展示の部)	橘総合センター	11/12～13
	第 23 回ふれあいコンサーin 久賀	久賀総合センター	11/19
	第 32 回学級・講座生のつどい	久賀総合センター	3/11
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> いずれも地域に根付いた事業となっている。今後も、より多くの発表者と参加者が得られるよう、学習者や地域の協力を得ながら、生涯学習の意義や理解を地域へ深めていくことが必要である。 		
<p>◆社会教育施設の活用</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗学者宮本常一の足跡等や島の歴史を学ぶ文化交流センターでは、民具や写真展示のほか、講演会や中学生を対象とした郷土の歴史についての講座を開催した。また、広島県内 7 か所で写真展示やギャラリートーク等を開催し、周防大島の歴史文化の情報を発信した。 日本ハワイ移民資料館は、日本とハワイ移民の歴史を基に、その資料を収集保存し、活用を図る施設として設置しており、移民に関する歴史的、文化的資料の展示等を行った。 竜崎陶芸の館及び八幡生涯学習のむらに設置した陶芸の館 2 か所の施設では、陶芸教室を開催し、利用者に作品作りの楽しさや達成感を味わってもらったり、陶芸を通し利用者との交流を図った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化交流センターには、民俗学者宮本常一の収集した多くの貴重な調査資料等が収蔵されている。師の郷里として名実共に誇れるセンターとなるよう、今後もさらに資料の整理と研究を続け、全国へ発信していく必要がある。また、文化交流センターのほか、各種社会教育施設においても、施設の設置目的に応じて、施設の紹介方法や事業内容を工夫し、施設利用者の増加を図るとともに、施設で活動するグループや地域の人材を育成し、公民館と同様に地域の中で生涯学習を推進する重要な役割を担う施設を目指す必要がある。 		
<p>◆文化財の保護、保存、整備</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国指定重要文化財の巡視や点検、修復 文化財の巡視（毎月） 国指定天然記念物（安下庄のシナナシ） 国指定重要有形民俗文化財（久賀の石風呂） 西長寺木造阿弥陀如来坐像の防火設備点検 久賀の諸職用具 92 点について国庫補助により保存修理を実施した。 埋蔵文化財の保護 町内には 62 の埋蔵文化財包蔵地が点在しており、文化財保護法により、包蔵地内の建設工事等を実施する場合、事前の手続きが必要となる。今年度、33 か所の土木工事等について、計画地が包蔵地内であるかどうかの 		

	<p>照会があり、調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料の保存 大島歴史民俗資料館の老朽化により、収蔵資料を旧椋野小学校へ移動し、洗浄等保存処理と資料目録を作成した。資料展示分は基本的に全資料を、収蔵庫収納分は状態の悪いものを除きできる限り移動した。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も劣化の進行した国指定重要有形民俗文化財の保存修理が必要である。 ・町内の貴重な文化財を広く町民に普及・啓発し、文化財保護への関心と理解を深め、ふるさとの伝統文化を大切にする心の醸成を図る必要がある。 ・移転した大島歴史民俗資料館の資料の古文書資料の保存と詳細な台帳の作成の他、各地区民俗資料館の施設の老朽化に伴い、資料の保存、展示方法等について、今後の資料館の効果的で特色ある運営のあり方について検討する必要がある。 																
<p>◆文化団体等の育成支援</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周防大島町文化振興会の育成を図るため、活動や組織化を支援した。 <table border="0"> <tr> <td>第2回友愛コンサート</td> <td>H23. 5. 28</td> </tr> <tr> <td>東日本大震災復興支援チャリティーピアノコンサート</td> <td>H23. 7. 16</td> </tr> <tr> <td>周防大島高校 夢を再び甲子園</td> <td>H23. 8. 1～ 8. 31</td> </tr> <tr> <td>先人の旅－PART 6</td> <td>H23. 11. 23</td> </tr> <tr> <td>講演会：徳島のおばあちゃん達の葉っぱビジネスを成功させた男の話</td> <td>H24. 3. 15</td> </tr> <tr> <td>先人の旅－PART 7</td> <td>H24. 3. 18</td> </tr> <tr> <td>周防大島高等学校吹奏楽部第3回定期演奏会</td> <td>H24. 3. 20</td> </tr> <tr> <td>トライアングルコンサート</td> <td>H24. 3. 28</td> </tr> </table> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内にはふるさとの伝承文化の保存継承をしている団体を始め、多くの文化団体、グループ、個人が主体的に活動している。こうした、貴重な文化活動は、心豊かな地域社会を形成していくために欠かせない営みであり、活動がさらに充実し地域へ広がっていくよう、支援の在り方を検討する必要がある。 	第2回友愛コンサート	H23. 5. 28	東日本大震災復興支援チャリティーピアノコンサート	H23. 7. 16	周防大島高校 夢を再び甲子園	H23. 8. 1～ 8. 31	先人の旅－PART 6	H23. 11. 23	講演会：徳島のおばあちゃん達の葉っぱビジネスを成功させた男の話	H24. 3. 15	先人の旅－PART 7	H24. 3. 18	周防大島高等学校吹奏楽部第3回定期演奏会	H24. 3. 20	トライアングルコンサート	H24. 3. 28
第2回友愛コンサート	H23. 5. 28																
東日本大震災復興支援チャリティーピアノコンサート	H23. 7. 16																
周防大島高校 夢を再び甲子園	H23. 8. 1～ 8. 31																
先人の旅－PART 6	H23. 11. 23																
講演会：徳島のおばあちゃん達の葉っぱビジネスを成功させた男の話	H24. 3. 15																
先人の旅－PART 7	H24. 3. 18																
周防大島高等学校吹奏楽部第3回定期演奏会	H24. 3. 20																
トライアングルコンサート	H24. 3. 28																
<p>◆町内図書館のネットワーク化の推進とサービスの向上</p> <p>【総合評価】</p> <p>計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民が気軽に訪れることができる図書館を目指して、町内の図書館の相互貸出しや相互返却を実施するとともに、自宅のパソコンにより図書の検索や予約等のできる図書館情報総合システムを整備した。 ・来館が困難な地区への移動図書館の巡回や、地域文庫への図書の貸出を行い、利便性の向上に努めた。 <table border="1" data-bbox="560 1928 1401 2011"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>貸出方法</th> <th>実施回数</th> <th>冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>移動図書館はばたき号</td> <td>12回</td> <td>2,782冊</td> </tr> </tbody> </table>	図書館名	貸出方法	実施回数	冊数	久賀図書館	移動図書館はばたき号	12回	2,782冊								
図書館名	貸出方法	実施回数	冊数														
久賀図書館	移動図書館はばたき号	12回	2,782冊														

	橘図書館	巡回図書	109回	4,770冊																																																
	東和図書館	地域文庫9か所	3回	655冊																																																

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館情報総合システムの周知に努めるとともに、情報内容の充実を図り、システムの利用促進を図る必要がある。 ・町民からの要望に応じて、不明な事柄について共に調べたり、学習方法、学習情報の相談に応じたりする図書館のレファレンスサービスの周知、充実させる必要がある。 																																																			
<p>◆町民のニーズに対応した情報収集、資料の整備</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書資料は、前年度に比べ図書 3,561 冊増え、172,781 冊となった。AV 資料は、痛みの激しい資料を整理したため 122 点減少し、2,112 点となった。 ・資料管理は、貸出、返却業務や資料検索の効率化を図るため、OA化するとともに、自宅からも必要な資料の検索や貸出情報が把握できるよう、インターネットを利用した情報の共有化を図った。 <p>蔵書資料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>一般図書</th> <th>児童図書</th> <th>郷土資料</th> <th>AV資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大島図書館</td> <td>24,703 冊</td> <td>10,794 冊</td> <td>1,407 冊</td> <td>1,297 点</td> </tr> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>34,897 冊</td> <td>18,467 冊</td> <td>3,131 冊</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>橘図書館</td> <td>27,281 冊</td> <td>13,543 冊</td> <td>1,055 冊</td> <td>397 点</td> </tr> <tr> <td>東和図書館</td> <td>21,964 冊</td> <td>13,596 冊</td> <td>1,943 冊</td> <td>418 点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>108,845 冊</td> <td>56,400 冊</td> <td>7,536 冊</td> <td>2,112 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>延利用者数</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大島図書館</td> <td>15,396 人</td> <td>20,925 冊</td> </tr> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>8,519 人</td> <td>21,082 冊</td> </tr> <tr> <td>橘図書館</td> <td>12,884 人</td> <td>25,478 冊</td> </tr> <tr> <td>東和図書館</td> <td>13,498 人</td> <td>14,570 冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>50,297 人</td> <td>82,055 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全館合計の延利用者数は、昨年度に比べ 2,631 人の減となったが、貸出冊数は 4,593 冊増加した。 ・町民のニーズを的確に把握し、図書の選定とともに、図書の紹介方法等を検討し、利用者数の増加対策に有効な事業運営を行っていく必要がある。 				図書館名	一般図書	児童図書	郷土資料	AV資料	大島図書館	24,703 冊	10,794 冊	1,407 冊	1,297 点	久賀図書館	34,897 冊	18,467 冊	3,131 冊	—	橘図書館	27,281 冊	13,543 冊	1,055 冊	397 点	東和図書館	21,964 冊	13,596 冊	1,943 冊	418 点	計	108,845 冊	56,400 冊	7,536 冊	2,112 点	図書館名	延利用者数	貸出冊数	大島図書館	15,396 人	20,925 冊	久賀図書館	8,519 人	21,082 冊	橘図書館	12,884 人	25,478 冊	東和図書館	13,498 人	14,570 冊	計	50,297 人	82,055 冊
図書館名	一般図書	児童図書	郷土資料	AV資料																																																
大島図書館	24,703 冊	10,794 冊	1,407 冊	1,297 点																																																
久賀図書館	34,897 冊	18,467 冊	3,131 冊	—																																																
橘図書館	27,281 冊	13,543 冊	1,055 冊	397 点																																																
東和図書館	21,964 冊	13,596 冊	1,943 冊	418 点																																																
計	108,845 冊	56,400 冊	7,536 冊	2,112 点																																																
図書館名	延利用者数	貸出冊数																																																		
大島図書館	15,396 人	20,925 冊																																																		
久賀図書館	8,519 人	21,082 冊																																																		
橘図書館	12,884 人	25,478 冊																																																		
東和図書館	13,498 人	14,570 冊																																																		
計	50,297 人	82,055 冊																																																		

◆高齢者、児童、幼児を対象とした読み聞かせ会の実施	【成果】																																
	・読書習慣の形成を図るため、幼児、児童、高齢者等を対象にしたお話し会や読み聞かせ会等を実施した。																																
【総合評価】 概ね計画どおり	<table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>事業名</th> <th>実施回数</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大島図書館</td> <td>おはなし会</td> <td>11回</td> <td>95人</td> </tr> <tr> <td>図書館まつり</td> <td>1回</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>おはなし会</td> <td>2回</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">橘図書館</td> <td>読み聞かせ</td> <td>275回</td> <td>5,603人</td> </tr> <tr> <td>音訳ボランティア</td> <td>12回</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>図書館まつり</td> <td>1回</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">東和図書館</td> <td>図書館まつり</td> <td>1回</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>クリスマス会</td> <td>1回</td> <td>122人</td> </tr> </tbody> </table>	図書館名	事業名	実施回数	延参加者数	大島図書館	おはなし会	11回	95人	図書館まつり	1回	200人	久賀図書館	おはなし会	2回	37人	橘図書館	読み聞かせ	275回	5,603人	音訳ボランティア	12回	60人	図書館まつり	1回	200人	東和図書館	図書館まつり	1回	133人	クリスマス会	1回	122人
	図書館名	事業名	実施回数	延参加者数																													
大島図書館	おはなし会	11回	95人																														
	図書館まつり	1回	200人																														
久賀図書館	おはなし会	2回	37人																														
橘図書館	読み聞かせ	275回	5,603人																														
	音訳ボランティア	12回	60人																														
	図書館まつり	1回	200人																														
東和図書館	図書館まつり	1回	133人																														
	クリスマス会	1回	122人																														
	【課題】																																
	・各図書館のお話し会や読み聞かせ会等の情報共有を一層深めると共に、効果的手法を積極的に事業展開に生かし、町全体で読書に親しむ環境づくりを推進する必要がある。																																

2. 地域教育力活性化の推進

- 家庭の教育力を高める学習機会の充実・相談支援体制の整備
- 放課後子ども教室における体験・交流活動の場の充実
- 学校支援ボランティアの拡大・充実
- 青少年の健全育成に関わる情報の提供、相談体制の整備
- 社会教育団体の活性化のための支援

◆学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業の推進	【成果】
	・学校支援ボランティア活動については、各学校が主体となって地域の諸団体や保護者に依頼し、学習支援や登下校の見守り等を行っている。東和中学校では、平成24年度にコミュニティ・スクールに移行することを念頭において、学校・家庭・地域のつながりを密にするとともに、小中高連携事業にも力を入れている。また、オリンピック選手やOBで、全国で活躍されている方の講演会を行い、地域にある人材・施設・環境を最大限に活用し、子どもにとって魅力のある教育活動を推進した。
【総合評価】 概ね計画どおり	【課題】
	・東和中学校区においては、平成24年度からすべての小学校にコーディネーターを置き、地域協育ネット協議会を発足する準備をした。残りの3地区においては、各学校での取組みにとどまっており、小中連携のネットワークづくりを積極的に行う必要がある。

<p>◆放課後子ども教室 推進事業の拡充</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>・なぎさクラブとカップスイミング（東和地区学校対象）わだっ子クラブに続き、たちばなっ子クラブ・沖浦っ子クラブを放課後子ども教室推進事業として拡充し、子どもたちの安全・安心な居場所の確保だけでなく、地域の教育力の向上や子どもたちのあいさつの推進等に成果をあげている。</p> <table border="1" data-bbox="497 439 1442 696"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>年開催日</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なぎさクラブ</td> <td>23回</td> <td>298人</td> </tr> <tr> <td>カップスイミング</td> <td>5回</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>わだっ子クラブ</td> <td>15回</td> <td>198人</td> </tr> <tr> <td>たちばなっ子クラブ</td> <td>10回</td> <td>225人</td> </tr> <tr> <td>沖浦っ子クラブ</td> <td>135回</td> <td>1,123人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <p>・沖浦っ子クラブは、水曜日以外の平日に開催しているが、その他のクラブは、平日1日かほとんどが月1回のみ土曜日に開催している。子どもや親からは平日開催を希望しているが、地域コーディネーターや安全管理員の確保が困難である。</p>	教室名	年開催日	延べ参加者数	なぎさクラブ	23回	298人	カップスイミング	5回	44人	わだっ子クラブ	15回	198人	たちばなっ子クラブ	10回	225人	沖浦っ子クラブ	135回	1,123人
教室名	年開催日	延べ参加者数																	
なぎさクラブ	23回	298人																	
カップスイミング	5回	44人																	
わだっ子クラブ	15回	198人																	
たちばなっ子クラブ	10回	225人																	
沖浦っ子クラブ	135回	1,123人																	
<p>◆青少年育成町民会議の活動の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>・青少年育成町民会議の活動を支援するために、補助金の交付、情報交換会、環境浄化活動、あいさつ推進活動を行った。青少年健全育成諸団体との情報交換会の中で、子どもたちの携帯電話やインターネット等による被害防止についての指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周防大島町青少年育成町民会議の開催（各地区で青少年育成町民会議を開催） ・クリーンアップ作戦 ・有害図書類等区分陳列確認 ・海水浴場点検 ・あいさつ標語運動（優秀作品表彰、啓発幟設置） ・図書館まつりや駅伝大会の支援 <p>・花いっぱい運動への協力（各地区へ花の苗の配布）</p> <p>【課題】</p> <p>・青少年育成県民会議の「家庭の日」の推進に向けて、小学生新入児童に「家庭の日カレンダー」を配布した。今後は、学校や子ども会等と連携をとり、積極的に推進していく必要がある。</p>																		

<p>◆子ども会等の活動の充実</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の活動を支援するために、補助金の交付、研修会の案内、情報交換会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・周防大島町子ども会育成連絡協議会の開催 (各地区で子ども会会長集会を開催) ・県子ども会連絡協議会総会・指導者研修会 ・柳井地区子ども会集団指導者研修会 ・周防大島少年の船洋上セミナー ・奉仕活動、清掃活動、ラジオ体操、どんど焼き、スキー教室 ・家庭教育学級を開催し、幼児の健全育成のための支援を行った。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修会への積極的な参加を促すことで、子ども会の意義や指導者の役割等について理解を図る必要がある。
<p>◆成人式の開催</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人になったことを自覚し、生き抜こうとする青年を祝うために成人式を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年1月4日 橘総合センター ・出席者 111人(対象者158人) ・内 容 式典、記念撮影 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで育んでくれたふるさを見つめ直す契機となるよう、ふるさをテーマにした企画や、出席できない新成人に対するメッセージの伝達を検討し、より充実した成人式を目指す必要がある。

3. 人権教育の推進

- 「山口県人権推進指針」の周知
- 指導者の養成による地域の人権教育の充実
- 「周防大島町人権教育推進大会」の開催
- 公民館学級や学校PTA研修会における人権学習講座の開催

<p>◆人権教育推進委員会の開催</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の人権教育の方針や啓発事業計画についての協議、人権啓発作品の審査等を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回人権教育推進委員会 H23. 6. 7 町人権教育重点施策、事業計画、作品募集等について協議 ・第2回人権教育推進委員会 H23. 9. 29 人権啓発作品審査、人権教育推進大会の内容について協議 ・人権教育推進大会準備会 H24. 1. 19 人権教育推進大会準備、最終打ち合わせ
---	--

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進大会の講師選定では、「住民ニーズに応じた方を」ということで日頃より情報収集をしている。各地区の人権学習講座等においては、講師選定や啓発活動内容を協議する必要がある。
<p>◆相談等の支援体制の整備・充実</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談については町福祉課と連携し、山口県人権対策室や山口県教育庁人権教育課の指導のもと、支援を行っている。また、相談窓口として、内容に応じて山口地方法務局ややまぐち総合教育支援センター等の関係機関を紹介し、町広報紙においては、人権相談開設日（毎月1回）を周知している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談については町福祉課の対応となるが、ほとんど相談がないというのが現状である。広報紙以外にどのような方法で住民に周知するかが課題である。
<p>◆人権教育推進大会の実施</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の人権意識の高揚を図るために、年1回各地区持ち回りで人権教育推進大会を実施している。内容については、人権教育推進委員会で検討し町民の実態にあったものを計画している。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度人権教育推進大会 H24. 1.20（大島文化センター） 内 容 人権啓発作品の表彰・発表 講演「みすゞのこころ」 参加者 160人 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催地区の住民の参加者が多く、その他の地区からの参加者が少ないため、マイクロバスの利用を周知しているが、活用が少ないので、人権教育推進委員による事業所への参加依頼等を検討する必要がある。 ・音楽コンサートによる記念講演や地元小学校のオープニングセレモニー等が参加者の増加の要因であるとともに、児童生徒の人権作文発表が好評である。今後も講演以外に、身近な人権について考える機会にしたい
<p>◆公民館学級・講座における学習会の実施</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館学級や教育委員会主催の人権学習講座を実施し、町民の人権意識の高揚を図っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・橘地区人権学習講座（10/11 橘総合センター）参加者108人 講演「伝える・つながる・響き合う」 ・久賀地区人権学習講座（11/21 久賀総合センター）参加者21人 講演「病気について～知ることは最大の防御なり」 ・大島地区人権学習講座（2/14 大島文化センター）参加者100人 講演「何があっても大丈夫」 ・東和地区人権学習講座（2/22 東和総合センター）参加者80人 講演「今を生きるまなざし」

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区で実施している人権学習講座では、受講生のニーズに応じた講師等を選定し開催しているが、地区によっては参加者数に差がある。また、少子高齢化などによる社会の変化により、新たな人権課題も発生しているため、講座の中で触れることが必要と考えられる。
<p>◆人権に関する児童生徒の応募入選作品の表彰・発表</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の小・中学校、高校の児童生徒を対象に、人権啓発作品の募集を行った。また、優秀作品の発表や展示等の人権尊重の精神を育むための啓発活動をおこない、明るく幸せな町づくりを推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発作品募集（7/20～8/31） <ul style="list-style-type: none"> 作文（小学生5・6年生対象） 作文・詩・標語・ポスター（中学生対象） 標語（高校生対象） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀作品の作文やポスターは、人権教育推進大会での発表や人権週間での掲示以外にも検討を要する。
<p>◆人権教育研修会の実施</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山口県人権教育推進資料」の周知を図るために、人権教育推進委員、町職員と町小・中学校教職員の合同研修会を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・周防大島町人権教育研修会（H23. 8. 10 大島文化センター） <ul style="list-style-type: none"> 参加者 75人 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」の周知を図っているが、身の回りには、様々な人権問題が幅広く存在しており、社会の変化による新たな課題に対しての研修会も必要になる。
<p>◆人権教育推進委員研修会の開催と積極的な参加</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進委員の資質向上に向けて、研修会の開催や研修会への積極的な参加を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・周防大島町人権教育研修会（H23. 8. 10 大島文化センター） ・学校・地域人権教育推進指導者研修会（H23. 9. 15 山口県庁） ・山口県人権教育指導者研修会（H23. 10. 28 山口南総合センター） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口県が主催する研修会の参加者が少ないため、指導者育成のためにも地元で開催される講演会や研修会に積極的に参加できるよう情報収集が求められる。

4. スポーツの振興

- 生涯スポーツの普及や地域スポーツ活動の充実
- 国体開催の準備に向けた競技団体等との協力体制の強化及び組織の充実
- 国体開催の周知に向けた広報活動の充実
- 各種指導員の養成・確保及び研修会の充実
- スポーツ施設の機能向上と利用促進
- 学校体育施設開放の促進及び効果的な活用
- 総合型地域スポーツクラブの育成

<p>◆スポーツ大会を通じての生涯スポーツの普及</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域のスポーツ大会から町内全域、そして広く町外を対象とした大会まで、また、内容も親睦を図るものから競技性の高いものまで幅広く実施した。 ・身近な地域におけるスポーツ大会 地域の特色を生かし、住民のニーズに応じた内容で実施した。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">地区</th> <th style="text-align: center;">大会名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大島地区</td> <td>屋代湖駅伝、カヌー教室、プールでOPヨット体験会、球技大会、泳げない幼児児童の水泳教室、親子3S体験キャンプ</td> </tr> <tr> <td>久賀地区</td> <td>職域ソフトボール大会、グランドゴルフ大会、インディアカ大会、ソフトバレー大会、バレーボール大会、卓球大会、久賀駅伝大会</td> </tr> <tr> <td>橋地区</td> <td>春季・秋季親睦球技大会（ソフトボール・バレーボール）、剣道大会、三世代交流スポーツ祭</td> </tr> <tr> <td>東和地区</td> <td>ママさんバレーボール大会、水泳教室、水泳大会、球技大会</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・町内全域を対象としたスポーツ大会 各地域のチームや選手が参加し、交流するとともに技術の向上を図った。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">大会名</th> <th style="text-align: center;">開催月日</th> <th style="text-align: center;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟式野球大会</td> <td style="text-align: center;">4/10</td> <td style="text-align: center;">50人</td> </tr> <tr> <td>壮年軟式野球大会</td> <td style="text-align: center;">5/8</td> <td style="text-align: center;">51人</td> </tr> <tr> <td>グランドゴルフ大会</td> <td style="text-align: center;">5/31</td> <td style="text-align: center;">73人</td> </tr> <tr> <td>バレーボール大会</td> <td style="text-align: center;">6/19</td> <td style="text-align: center;">137人</td> </tr> <tr> <td>陸上競技大会</td> <td style="text-align: center;">6/26</td> <td style="text-align: center;">277人</td> </tr> <tr> <td>スポ少交歓会</td> <td style="text-align: center;">7/3</td> <td style="text-align: center;">144人</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール大会</td> <td style="text-align: center;">7/24</td> <td style="text-align: center;">76人</td> </tr> <tr> <td>ソフトテニス大会</td> <td style="text-align: center;">7/18</td> <td style="text-align: center;">54人</td> </tr> <tr> <td>水泳大会</td> <td style="text-align: center;">8/21</td> <td style="text-align: center;">98人</td> </tr> <tr> <td>卓球大会</td> <td style="text-align: center;">8/27</td> <td style="text-align: center;">36人</td> </tr> <tr> <td>大島郡武道大会</td> <td style="text-align: center;">11/23</td> <td style="text-align: center;">57人</td> </tr> </tbody> </table>	地区	大会名	大島地区	屋代湖駅伝、カヌー教室、プールでOPヨット体験会、球技大会、泳げない幼児児童の水泳教室、親子3S体験キャンプ	久賀地区	職域ソフトボール大会、グランドゴルフ大会、インディアカ大会、ソフトバレー大会、バレーボール大会、卓球大会、久賀駅伝大会	橋地区	春季・秋季親睦球技大会（ソフトボール・バレーボール）、剣道大会、三世代交流スポーツ祭	東和地区	ママさんバレーボール大会、水泳教室、水泳大会、球技大会	大会名	開催月日	参加者数	軟式野球大会	4/10	50人	壮年軟式野球大会	5/8	51人	グランドゴルフ大会	5/31	73人	バレーボール大会	6/19	137人	陸上競技大会	6/26	277人	スポ少交歓会	7/3	144人	ソフトボール大会	7/24	76人	ソフトテニス大会	7/18	54人	水泳大会	8/21	98人	卓球大会	8/27	36人	大島郡武道大会	11/23	57人
地区	大会名																																														
大島地区	屋代湖駅伝、カヌー教室、プールでOPヨット体験会、球技大会、泳げない幼児児童の水泳教室、親子3S体験キャンプ																																														
久賀地区	職域ソフトボール大会、グランドゴルフ大会、インディアカ大会、ソフトバレー大会、バレーボール大会、卓球大会、久賀駅伝大会																																														
橋地区	春季・秋季親睦球技大会（ソフトボール・バレーボール）、剣道大会、三世代交流スポーツ祭																																														
東和地区	ママさんバレーボール大会、水泳教室、水泳大会、球技大会																																														
大会名	開催月日	参加者数																																													
軟式野球大会	4/10	50人																																													
壮年軟式野球大会	5/8	51人																																													
グランドゴルフ大会	5/31	73人																																													
バレーボール大会	6/19	137人																																													
陸上競技大会	6/26	277人																																													
スポ少交歓会	7/3	144人																																													
ソフトボール大会	7/24	76人																																													
ソフトテニス大会	7/18	54人																																													
水泳大会	8/21	98人																																													
卓球大会	8/27	36人																																													
大島郡武道大会	11/23	57人																																													

- ・スポーツを通じて町内外との交流を深める大会
町内の参加者だけでなく町外へ参加を呼びかけ、スポーツを通じて町内外との人的交流を促進し、人と人とのつながりを深めた。

大会名	開催月日	参加者
ビーチバレーボール大会	7/10	242人
近県ソフトテニス大会	10/16	154人
大島一周駅伝競走大会	12/11	651人
サザンセト大島ロードレース大会	2/5	3,719人
サザンセト大島少年サッカー大会	3/29～3/31	791人
フットサル大会	1/7～1/8	333人

【課題】

- ・身近な地域におけるスポーツ大会
長年にわたり地域に支持され開催されてきたスポーツ大会は、スポーツの普及に大きな役割を果たしてきた。高齢化が進む中、地域にあった内容や大会運営の方法等を検討し、健康や体力づくりを推進していくことが必要である。
- ・町内全域を対象としたスポーツ大会
青少年から高齢者を対象とした競技まで、幅広い年齢層に対応したスポーツ大会を実施し、スポーツ人口の増加を図った。さらに、各種目の競技力向上についても貢献してきた。今後も、競技内容や運営方法を検討し、より質の高い大会を目指すとともに、生涯スポーツ推進の視点から、町民が誰でも気軽に取り組み健康と体力づくりができるスポーツを紹介する大会等、生涯スポーツの意義や楽しさを町内へ普及する役割も重要となる。
- ・スポーツを通じて町内外との交流を深める大会
本町に定着した大会となってきたが、参加チームの減少や運営役員の確保が困難な状況が生じているものもある。それぞれ、内容や運営方法等を検討し、より質の高い大会とする必要がある。

◆スポーツ団体及び
総合型地域スポーツ
クラブの育成支援

【総合評価】

概ね計画どおり

【成果】

- ・種目別スポーツ団体
競技種目ごとのスポーツ団体（クラブ）は、学校施設や社会教育施設を利用し、定期的に活動している。また、大会を独自に企画・運営している団体も現れている。
- ・総合型地域スポーツクラブ
1クラブが設立し、多種多様なスポーツの活動をしている。

【課題】

- ・スポーツ団体（クラブ）の活動の紹介や、スポーツに関する情報の提供を検討する等、スポーツ団体（クラブ）の活動を支援し、スポーツ活動を充実させることが必要である。

<p>◆スポーツ推進委員の養成と研修機会の充実</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員は、各地域のスポーツ少年団やシニア層のスポーツサークル等の実技指導を行うとともに、スポーツクラブの育成と活動を支援している。また、スポーツ推進委員連絡協議会を組織し、情報交換や研修会の実施、県主催の指導者研修会等に参加し、資質の向上を図っている。 <p>-----</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ基本法の施行により、体育指導委員の名称がスポーツ推進委員へと変更となった。さらに、従来の役割であるスポーツの実技指導等の他、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整が追加され、推進委員の役割が多様化した。これに伴い、スポーツ推進委員の研修機会の充実を図り、資質向上に努めるとともに、推進委員の世代交代がスムーズに行われるよう、地域の有能な人材を発掘・養成して行く必要がある。
<p>◆特色を生かした社会体育施設の積極的な活用</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋リクレーション活動を軸に、自然体験活動等を行うB&G海洋センターは、カヌー・ヨット教室やキャンプ、泳げない幼児児童の水泳教室等を実施し、青少年の健全育成や町民の健康づくりを支援した。総合体育館や陸上競技場は、屋内外スポーツを一体的に大規模に実施できる施設であり、町内全域を対象としたスポーツ大会や、町外との交流を深めるイベント等の拠点として利用されている。また、今年度は、健康管理センターの卓球台購入、東和グラウンドの防球ネットの整備等を行い、町民に利用しやすい生涯スポーツの場の環境づくりに努めた。 <p>-----</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各体育施設の設備等を充実させるとともに、より多くの町民がスポーツに親しめるよう、各施設の特色を生かしたスポーツ教室等を検討し、町民が生涯にわたってスポーツに親しめる場の提供をしていく必要がある。
<p>◆学校体育施設の開放促進と積極的な活用</p> <p>【総合評価】</p> <p>概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの学校が、放課後や夜間・休日に学校体育館や運動場を開放しており、スポーツ少年団の練習場所や地域住民のスポーツ・レクリエーションの場となっており、生涯スポーツの振興や地域住民の交流が図られている。安下庄小学校グラウンド夜間照明設備を設置し、夜間の屋外スポーツ活動環境を整備した。 <p>-----</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設の地域への開放は、地域のスポーツ環境の整備に欠かせない手法である。今後も、備品や設備等を計画的に整備・充実させ、生涯スポーツ活動の場として、有効活用を図る必要がある。

<p>◆国体開催と開催に向けた広報活動</p> <p>【総合評価】</p> <p>計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正式競技 <ul style="list-style-type: none"> ・競技名：アーチェリー競技 ・期 日：平成23年10月7日～9日 ・場 所：周防大島町陸上競技場 特設アーチェリー場 ・参加者：選手・監督 280人 競技関係者 延べ1,287人 ・デモンストレーションとしてのスポーツ行事 <ul style="list-style-type: none"> ・行事名：ハング・パラグライダー ・期 日：平成23年9月10日 ・場 所：橘ウインドパーク ・参加者：選手 57人 大会関係者 83人 ・炬火イベント <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：平成23年6月4日 ・内 容：大島庁舎から陸上競技場までの炬火リレー ・広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「広報すおう大島」への国体情報の連載 ・山口国体周防大島町実行委員会公式ホームページでの国体PR ・ポスター・ミニプログラムによる周知啓発 ・看板・横断幕及びのぼり等による啓発 ・町内イベントでのPR <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口国体周防大島町開催競技の開催を契機に、今後の町民へのスポーツに関する理解と、生涯スポーツに発展する普及啓発活動が必要である。
--	--

学 校 環 境 の 整 備

学校環境の整備

1 学校施設の整備

安心・安全な学校づくり、快適な学校施設を提供するために、平成23年度予算計上した主な事業

事業名	事業概要	事業の取組と成果	予算・決算	総合評価
1 大島中学校屋内運動場改築事業	本校の耐震診断を行った結果、耐震性が低く、昭和34年建築で老朽化が激しく、また、既存床面積(646㎡)が小さいため、生徒数にあった必要床面積(1,138㎡)で改築を行う。	平成21年度の経済対策による補正予算と平成22・23年度予算で事業を行う。平成21・22年度で基本設計・実施設計を行い、建設事業は平成22・23年度に行った。	H23 予算額 110,213,000 円 H23 決算額 66,946,515 円	計画どおり (平成23年7月完成)
2 油田小学校屋内運動場耐震補強事業	本校の耐震診断を行った結果、屋内運動場は耐震性が低いため、耐震補強工事を行う。	平成22年度の文科省予算で実施設計を行い、耐震補強工事は平成23年度で行った。	H23 予算額 44,366,000 円 H23 決算額 43,573,950 円	計画どおり (平成24年1月完成)
3 久賀中学校改築事業	本校の建築年次は昭和34～36年であり耐震診断を行った結果、耐震性が低いため、RC造3階建(2,686㎡)で改築を行う。	平成23年度で基本設計・実施設計及び仮設校舎の建設を行い、建設事業は平成24・25年度に行う。	H23 予算額 35,508,000 円 H23 決算額 35,010,690 円	計画どおり (平成25年10月完成予定)

事業名		事業概要	事業の取組と成果	予算・決算	総合評価
4	大島中学校屋外倉庫改築事業	木造平屋建の屋外倉庫(111.60㎡)が老朽化して危険なため解体し、同じ位置にプレハブの倉庫(74.4㎡)を建設する。	平成22年度の経済対策の補正予算で予算化し、平成22年度繰越で実施設計及び改築工事を行った。	H23 予算額 9,245,000 円 H23 決算額 7,840,350 円	計画どおり (平成24年2月完成)
5	周防大島町学校給食調理場改修事業	久賀給食センター、大島学校給食センター、橘学校給食センター、東和学校給食センター及び浮島小学校、情島小学校の給食調理場手洗設備等の改修工事を行う。	平成22年度の経済対策の補正予算で予算化し、平成22年度繰越で実施設計及び改修工事を行った。	H23 予算額 20,500,000 円 H23 決算額 15,492,750 円	計画どおり (平成23年9月完成)
6	周防大島町学校給食調理場備品更新事業	東和学校給食センターの調理器具が老朽化したため、器具の更新を行う。	平成22年度の経済対策の補正予算で予算化し、平成22年度繰越で備品の更新を行った。	H23 予算額 7,300,000 円 H23 決算額 6,615,000 円	計画どおり (平成23年8月更新済)